

板紙凸版画 凹版画 (凸版凹版)

□主に扱う学年・時間

3～4年 6時間

□版画の特徴

- 厚いボール紙などをひっかいてへこましたり、紙を剥いだり切り抜いたりして版をつくり、写し取る版画
- 1枚の版から凸版・凹版両方の刷り方が出来る



凹版刷り


□準備する材料・用具

- ①版をつくる厚手のボール紙
- ②刷り紙
  - ・画用紙、ケント紙
  - ・和紙など絵の具を吸いやすい紙
- ③彫刻刀 ④ニードル ⑤カッターナイフ
- ⑥はさみ ⑦中性(油性)版画インク
- ⑧バレン ⑨ローラー ⑩インク練り板
- ⑪版画プレス機 ⑫新聞紙 ⑬水性ニス ⑭刷毛 ⑮ぼろ布



凸版刷り

□授業のながれ

授業のながれ(子どもの活動)	教師の準備・支援
凸版・凹版ともに版をつくる手順はほとんど同じ→ 刷り方が違う	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 板紙版画について知る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・板紙版画ってなーに？</li> </ul> </li> <li>2 表したい場面を考える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を描こうかな</li> </ul> </li> <li>3 版にするボール紙の上に絵をかく</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 参考作品鑑賞                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生が刷った版画があれば参考に</li> </ul> </li> <li>2 楽しかったことはなんだろう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で友達と</li> <li>・おうちで家族と</li> </ul> </li> </ol> <p>! 刷り上がりは下絵と逆になる 逆にしたくなければ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず下絵をトレーシングペーパー(半透明の紙)などに描く</li> <li>・それを逆にしてボール紙の上にカーボン紙で写す</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・柔らかい4B以上の鉛筆や水性ペンで</li> </ul>	

- 4 下絵に沿ってニードルや切り出しで  
引っ掻いて線を入れる

<凸版をつくる>

- 5 下絵に沿ってカッターナイフ、ニードルなどで切り込みを入れ、白くしたいところは紙をはぎ取る。



- 6 版表面の汚れ、紙くずをきれいにとる  
・セロテープなどで取ってもよい
- 7 版にニスを塗っておく

#### 8 凸版刷り

- ・プレス機で刷る方法と
- ・木版のようにバレンで刷る方法がある

- ・凸部にインクをつけて刷る

①インクを準備する

②机の上に新聞紙を敷く

③新聞紙の上に版をのせる

④ローラーで版にインクをつける  
(単色木版画と同じ)

⑤プレス機の準備

- ・プレス機の鉄板の上に版より大きい画用紙、ボール紙などを貼り付けておくとよい
- ・その上にきれいな敷き紙を敷く

⑥④のインクを付けた版をプレス機に上向きにのせる

⑦その版の上に刷り紙を静かにのせる  
ずれないように敷き紙を見当にして  
曲がらないようにのせる

#### 5 紙を丁寧にはぎとろう

- ・深くはぎ取るほど、刷り上がりは白くなる
- ・真っ白にしたければ、その部分のボール紙を切り取っておく



はぎ取った部分の微妙な刷りが特徴

#### 7 水性ニスを刷毛で塗る

- ・版を丈夫にするために
- ・刷っているとき、紙くずが出ないようにするために

#### 8 バレンで刷ると刷りの調子が見やすい

①インクは中性インクまたは油性インク

- ・油性インクは後片付けが大変だが、刷りはしっとりした感じになる。
- ・インクをインク練り板の上に出しローラーで静かに練る
- ・インクは少しずつ出しながら練る

⑥プレス機を調整しておく

- ・凸版刷りはあまりプレス機のローラーに圧をかけすぎないように
- ・指で簡単に回せる程度
- ・凹版刷りは少し強めに圧をかけておく

- ⑧⑦の上に更紙をのせる
- ⑨その上にフェルトをかぶせて

⑩ローラーをまわす（往復しない）

⑪フェルトをあげて刷り紙をとる

## 9 凹版刷り（プレス機で刷る）

凹部にインクをすり込む

- ①インクを準備する
- ②机の上に新聞紙を敷く
- ③新聞紙の上に版をのせる
- ④版にローラーでインクをつける
- ⑤その上をタンポやダバーですり込む
  - ・版の凹部にインクをすり込む
- ⑥すり込んだらきれいな布で凸部のインクを拭き取る
- ⑦プレス機の準備
  - ・プレス機の鉄板の上に版より大きい画用紙、ボール紙などを貼り付け
  - ・その上にきれいな敷き紙（見当紙）を敷く
- ⑧⑥のインクを付けた版をプレス機に上向きにのせる
- ⑨その版の上に刷り紙を静かにのせる
  - ずれないように 敷き紙を見当にして曲がらないようにのせる
- ⑩その上に更紙をのせる
- ⑪その上にフェルトをかぶせて
- ⑫ローラーをまわす（往復しない）
  - ・回転させて重たくなったら版を刷っている時、軽くなったら刷り終わった時
- ⑬フェルトをあげて刷り紙をとる
- ⑭やった 刷れた！

- ⑩回転させて重たくなったら版を刷っている時、軽くなったら刷り終わった時

- ①新聞紙の上にインク練り板を置く
  - ・インクをインク練り板の上に出す
  - ・ローラーでインクをよく練っておく
- インクがハネないようにゆっくり



ダバーですり込む



刷るときは必ずきれいな紙（見当紙）を敷く

- ⑨⑦で敷いた下の見当紙にできるだけあわせるようにのせると、作品が曲がらず刷れる

※プレス機の圧は凸版刷りよりやや強めにしておく

※凹版刷りは凸版刷りと、白黒が逆になる

板紙凹版凸版画は県内でもかなり熱心に取り組まれている方が多い。

紙をはぎ取った部分の微妙な刷りの感じ（ハーフトーン）が、味わい深い作品を生むのが好まれる理由であろうか。

あまり抵抗感はないと思うので、みなさんもぜひ取り組んでいただきたい。

